

フィンランド幼児教育セミナー アンケート集計結果概要

問1 フィンランド幼児教育セミナーの感想をお聞かせ下さい(該当する事項に「○」を付してください。

1 大変良かった	2 良かった	3 まあまあ	4 良くなかった	回答なし	合計
12	74	38	2	4	130

問2 フィンランド幼児教育(ハッカライネン教授)の講演を通して、本県幼児教育に活かせると感じた点をお答えください。

○ 5歳児無償(個人は無償というのどうかと思うが)で幼児教育を受けられること。

第3子の0歳～2歳が無償より、よほど意味、意義があるように思いますが、どうでしょうか?「ただ」だから保育所に預けないと勿体ないという保護者の増加。子どもを人でなく物として見ているのでは?

○ ケアとエデュケーション。日本だと養護と教育。永遠の課題だと思います。私は幼稚園と保育所、公立で体験しているが、幼稚園と保育所の垣根をとり、子ども達のために考えていきたい。

○ 福井県の子どもの力は、まあよく勉強する、学力をつけることを優先していると思うが、創造性というところが弱い。自ら何かの力をつけないと頭打ちになる。福井県というより他県で就職してしまうのもったいない。

○ 遊びの中からの学びは素晴らしいと思いました。しかしながら、サポートする大人の数がたくさんいますね。3歳未満の子どもを持つ家庭への経済支援。



問3 本県幼児教育(岸野准教授)の講演を通して、本県幼児教育の問題について感じた点をお答えください。



○ 働き始めて6年目になるが、もっと下の若い先生にいい刺激を与えられるような見本になれる保育者になっていきたい。

○ 家庭での時間の減少をどう解消していくべきか。安易に施設を増やしていただくだけでは駄目なのではないだろうか。家庭時間を減少させている原因?

福井は「教育」を重視なのか?「福祉」を重視なのか?どっちなのか?

○ 親育ち(自分の子どもを幼稚園に預けておけば楽。子育ては大変だと預ける)

スポーツ少年団のあり方に疑問を感じる(9時までの練習は必要か?)早寝早起きの大切な習慣を身につけないと。

○ 幼稚園(公立・私立)は子どもの人数が少なく、集団としての学びができないところもある。

併設幼稚園の園長が校長はできないのでは?幼保一体化、ニーズの多様化など →ビジョンが必要。

○ 西川知事が「0歳～18歳の教育」ということを打ち出されました。特に、福井はほとんどの子どもが乳児期に入園していますから、保育にはしっかりと養護と教育という部分において質を高めていかなければならないと改めて感じました。0歳でも学びの芽はたくさんあるのです。

- 今後、多忙な教育活動を進める中で、いかに継続して小・保幼の連携や交流を図っていくか？（重要ではあるが、難しいと感じることも確か…）

福井の小学校は不登校対策での小中連携ばかりが目に入っており、幼保の連携への視野が少なすぎるのが、今後の課題であると思う。もっと小学校の先生方にも幼保との連携の重要性や意義を伝えていくが必要になると思います。

- 多世代の中の保護者となっているが、やはり、他の世代に子育てを頼り過ぎているのではないかと思う。若い母親世代がもっと自分の子育てを深く考える。そのような手立てはないか探してほしい。手を出す前に手を出し過ぎている。
- 保育園は養護と教育で子供の育ちの中で教育を重視しています。小学校の先生との共通理解の必要な点だと思います。保幼小との連携がなかなか進まない理由もここにあるように思います。
- 保育園では養護だけでなく、教育も十分に行っています。もっと保育園の実態を知ってほしいと思います。園での生活が長い分教育的なことは幼稚園以上のことがなされていると思います。生活の中では時間をかける子どもに無理なく取り入れています。



問4 本県幼児教育を推進する上で、一番大切な事項を次の中からお選びください（該当する事項1つに「○」を付してください。）。

1 保幼小連携	2 家庭教育	3 教員の資質	4 地域との連携	5 その他	全部	空欄	合計
45	38	32	4	6	3	2	130



保育所、幼稚園、小学校等から 162 名の参加者をいただきました。
また、130 名の方々からアンケートのご回答をいただきました。